令和8年第41回原子力委員会
資料第２－５号

上坂原子力委員会委員長の海外出張報告
「原子力に関する国際閣僚会議」への出席について

令和８年11月11日
内閣府原子力政策担当室

１．出張先　　韓国（仁川）

２．出張期間　令和８年10月28日(水) ～ 10月29日(木)

３．渡航目的

上坂原子力委員会委員長は、IAEA主催で令和８年10月27日から29日にかけて韓国・仁川にて開催された「原子力に関する国際閣僚会議」において、日本政府を代表してステートメントを行うため、同会議に出席した。

４．主要日程

10月28日(水)　東京発・韓国着
29日(木)　原子力に関する国際閣僚会議（３日目）出席
韓国発・東京着

５．概要

本会議において、上坂委員長は日本政府を代表してステートメントを行い、世界において原子力発電の重要性が高まっている中、日本として原子力を最大限活用していく方針の下、既設炉の再稼働や次世代革新炉の開発・設置に向け、IAEAと緊密に連携していくことを述べた。

さらに、原子力の平和的利用を促進するために不可欠な「3S」（※）の確保に向け、日本は東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の着実な進捗が進んでいることや、ALPS処理水の海洋放出が計画通り安全に行われ IAEA により継続的に確認されていることを発信するとともに、「モデル国」としてのIAEA保障措置の強化の取組や、Japan-IAEA原子力エネルギーマネジメントスクール（NEMS）などを通じた国際的な人材育成、技術開発を進めていく旨を発信した。

（※）3S：原子力安全（Safety）、核セキュリティ(Security)、保障措置(Safeguard)



以上